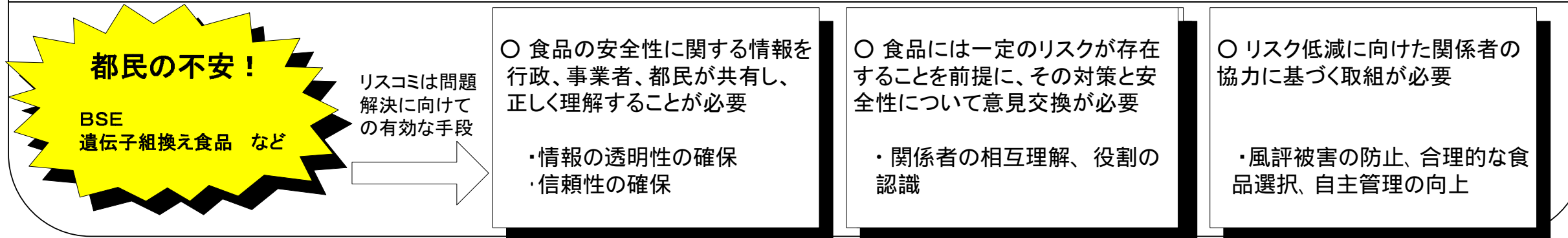
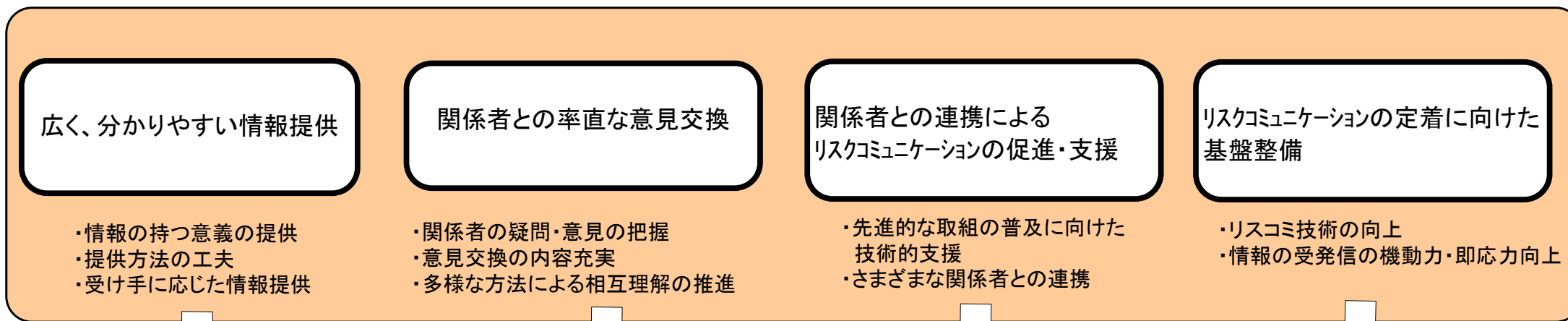


食品安全審議会答申を踏まえた リスクコミュニケーションの取組(平成18年度)

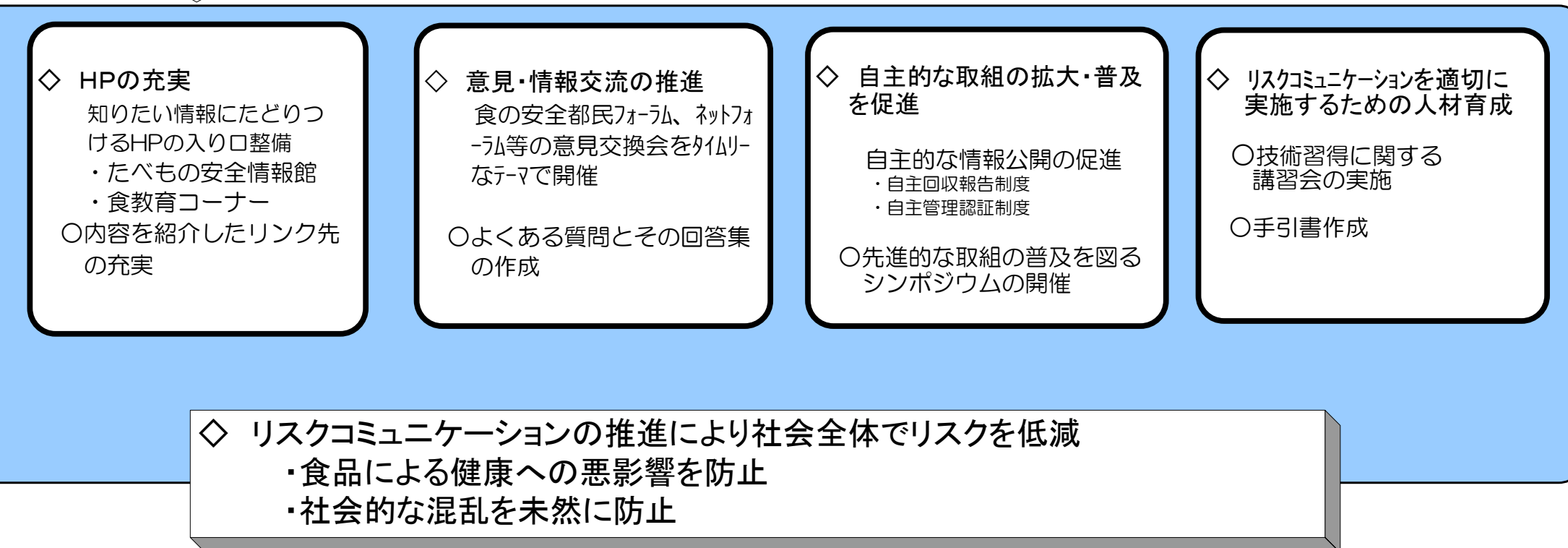
リスクコミュニケーションの必要性



答申に示された
都の役割



主な取組内容



1 「ポジティブリスト制度」に関する事業者との意見交換会

(1) 開催日時・会場

平成18年5月22日(月曜日) 午後1時30分から午後4時30分まで
東京都庁都民ホール(東京都議会議事堂1階)
平成18年6月5日(月曜日) 午後1時30分から午後4時30分まで
大講場(都庁第一本庁舎5階)

(2) 内容(講師担当)

- ア ポジティブリスト制度の概要(60分)
(健康安全研究センター多摩支所理化学研究科)
- イ 都の取組について(50分)
生産者への対応(産業労働局農林水産部食料安全室)
流通食品への対応(福祉保健局健康安全室食品監視課)
- ウ 意見交換(60分)

(3) 対象

東京都内のスーパー等小売業、食品の卸売業、製造業など食品関連事業者

(4) 実施結果

受講者数: 507名

今回の意見交換会では、リスコミの手法を取り入れ、様々な立場の参加者との双方向の意見交換会となるよう、以下の点を工夫した。

意見交換の時間を従来よりも長く設定

意見交換の時間を1時間とり、参加者に対し、様々な立場で取組状況を話してもらった。これまでのような単に講師と会場参加者との質疑応答のスタイルではなく、都側も、規格基準、監視計画、輸入食品、乳肉水産、検査、生産者指導の各担当者が参加し、多くの立場の人たちが参加できるような、意見交換の場の運営を試みた。

また、参加者からの質問を踏まえ、「ポジティブリスト制度Q & A」を作成。当日の配布資料とあわせて、食品監視課ホームページ「食品衛生の窓」に掲載

事前質問の実施

事前に寄せられた145件の質問を分類整理し、多く寄せられた質問事項に対する解説を講習内容に反映させる等、限られた時間内で参加者のニーズに最大限応えられるよう、質問を活用した。

意見交換については、66%が参考になったと回答

参考になった点として、他社の状況を知ることができたこと、都の取組の内容を具体的に聞いたこと、などがあげられた。

2 第8回食の安全都民フォーラム「あなたは誤解していませんか?健康食品」

(1) 開催日時・会場

平成18年8月2日(水曜日) 午後2時30分から午後5時
大講場(都庁第一本庁舎5階)

(2) 内容

- ア トークショー「健康食品と食育について」(60分)
出演: 服部幸應氏(学校法人服部学園理事長)
- イ 高校生の討論会「健康食品の利用をどのように考えますか」(90分)
出演: 都立高等学校生徒(10名)
助言者: 服部幸應氏(服部栄養専門学校理事長)
梅垣敬三氏(独立行政法人国立健康・栄養研究所健康食品プロジェクトリーダー)

(3) 対象

都民及び事業者

(4) 実施結果

参加者数: 363名

高校生による公開討論会の実施

高校生の討論会は初の試み

「美容にいい、すぐ痩せるなど、イメージ、情報に踊らされている感じ」、「健康食品ってよくわからない」など、健康食品に対するそれぞれの考え方について積極的な発言があった。

助言者から、「宣伝や広告に惑わされることなく、食品に関する情報をよく調べて判断し、選ぶことが大切」などのアドバイスがあった。

食品安全アンケートの実施

参加者に対し、食品安全に関心のある項目についてアンケートを実施

最も関心の高い項目は、「食品添加物」、次いで「遺伝子組換え食品」、「残留農薬」についてであった。今後ホームページの充実などにこれらの結果を活用していく。